

# これまでの財政健全化の取組み 平成24年度～平成25年度

## 概 要 版

### 「財政健全化基本方針」の概要

#### ■ 健全化の目標とこれまでの取組み状況

##### ○ 目 標

概ね10年後において、130億円程度の基金を確保した上で、給与の特例減額などの特例措置なしに収支を均衡する

##### ○ これまでの取組み状況

###### ① 集中改革期間

- ・平成20年度から平成23年度までの4年間を「集中改革期間」とし、抜本的な改革を集中して実行する
- ・この間に、毎年度見込まれる収支不足200億円台後半のうち、200億円程度を解消する

###### ② 集中改革期間後の取組み

- ・平成24年度から平成25年度までの2年間を、今後の県の財政運営を見極めるための「経過監視期間」とし、国の動向等を注視しながら、財政健全化に取り組む

#### ■ 健全化の具体的な取組み

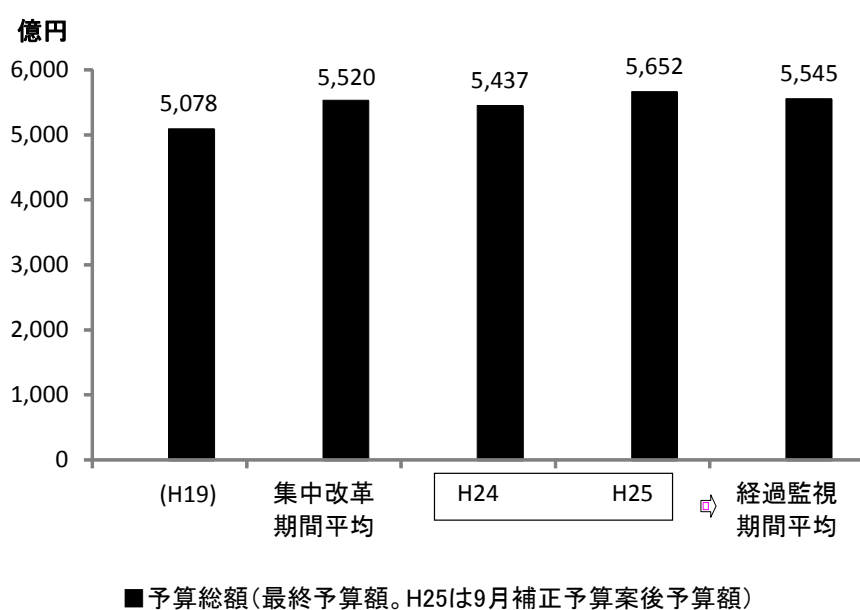
- 行政の効率化・スリム化   ○ 事務事業の見直し   ○ 財源の確保

平成25年10月

島 根 県

# 1 経過監視期間中の予算の動き

- 経過監視期間（24年度～25年度の2年間）においては、国が地方に配慮した政策を継続したことから、地方交付税や国の経済対策基金を想定以上に確保することができました。
- これらの財源を活用することにより、経過監視期間（24年度～25年度の2年間）中の予算額は、集中改革期間（20年度～23年度の4年間）の予算額の平均と比較して、概ね同程度の規模を維持しています。



- 歳出予算のうち、県民サービスの直接的な経費を性質別に見ると、平成19年度、集中改革期間の平均及び経過監視期間の平均は、次のとおりとなっています。  
財政の健全化に取り組みながらも、県民サービスの向上に努めてきました。

(単位：億円)

区 分	①H19年度	②集中改革期間 (4年間平均)	③経過監視期間 (2年間平均)	増 減 (③－②)
人 件 費	1,281	1,226	1,214	▲12
普通建設・維持修繕費	1,223	1,355	1,345	▲10
扶助費・補助費等	657	770	808	38
その他の政策的経費	747	986	1,123	137
合 計	3,909	4,337	4,490	153

(注) 県民サービスの直接的な経費とは、借金の返済金である公債費や他の都道府県や県内市町村に税収を配分する税収連動交付金等を除いた経費をいいます。

## 2 財政健全化の実績

経過監視期間においては、集中改革期間の取組み実績を土台とし、県民サービスの維持確保に配慮しながら財政を運営しました。

当初懸念していた国の動向等の情勢変化に伴う財政悪化もなかったことから、今後の財政健全化の取組み方針に掲げた取組みを進めることなどにより、財政健全化は、概ね基本方針に沿って進んでいます。

### (1) 取組みの実績

#### ① 収支改善の実績(見込み)

[集中改革期間の実績] (単位：億円)

区分		H20	H21	H22	H23	合計
改革前の収支(見込み)		▲ 250	▲ 265	▲ 275	▲ 260	▲ 1,050
改革後の収支(実績)		▲ 102	▲ 100	▲ 87	▲ 46	▲ 335
改善額(実績)		148	165	188	214	715
内訳	行政の効率化・スリム化	69	73	73	73	288
	事務事業の見直し	15	29	41	60	145
	財源の確保	64	63	74	81	282

集中改革期間中に200億円程度(執行段階での節減50億円を含む)の収支改善を達成

[経過監視期間の目標] (単位：億円)

区分		H24	H25	合計
改革前の収支(見込み)		▲ 110	▲ 105	▲ 215
改革後の収支(目標)		▲ 30	▲ 25	▲ 55
改善額(目標)		80	80	160
内訳	行政の効率化・スリム化	5	5	10
	事務事業の見直し	5	5	10
	財源の確保	70	70	140

注：改革前の収支(見込み)は、H24年1月に公表した財政見通し

[経過監視期間の実績] (単位：億円)

区分		H24	H25	合計
改革後の収支(実績)		▲ 27	▲ 24	▲ 51
改善額(実績)		83	81	164
内訳	行政の効率化・スリム化	3	5	8
	事務事業の見直し	1	1	2
	財源の確保	79	75	154

注：H25年度の改善額(実績)には執行段階での節減による財源の確保50億円を含む

② 収支不足額（基金取崩し額）

（単位：億円）

	集中改革期間				経過監視期間	
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
計 画	105	100	90	50	30	25
実 績	102	100	87	46	27	(24)

注：H25の数値は執行段階での節減による財源の確保50億円を含む

③ 基金残高

（単位：億円）

	集中改革期間				経過監視期間	
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
計 画	465	365	275	225	195	170
実 績	468	376	290	245	219	(196)

注：H25の数値は執行段階での節減による財源の確保50億円を含む

④ 県債残高（一般会計ベース）

（単位：億円）

	集中改革期間				経過監視期間	
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
計画 通常債	8,172	7,936	7,699	7,386	7,069	6,751
臨財債	1,795	1,931	2,050	2,158	2,255	2,345
計	9,967	9,867	9,749	9,544	9,324	9,096
実績 通常債	8,036	7,731	7,429	7,142	6,970	6,934
臨財債	1,839	2,205	2,501	2,665	2,838	3,053
計	9,875	9,936	9,930	9,807	9,808	9,987

⑤ 実質公債費比率（3か年平均）

（単位：％）

	集中改革期間				経過監視期間	
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
計 画	17.7	17.2	17.4	17.7	17.9	17.8
実 績	17.9	17.3	17.0	16.0	14.6	—

(2) 経過監視期間の最終年度(平成25年度)における取組み実績(見込み)

経過監視期間の最終年度の平成25年度における収支改善の内訳については、当初予算段階では、次のとおり見込んでいます。

項 目	目標額	実績額	内 容
<b>1 行政の効率化・スリム化</b>	<b>5億円程度</b>	<b>5億円</b>	
① 総人件費の抑制		3億円	・職員定員の削減 1.9 ・管理職手当、特別職・議員報酬の特例減額 1.1
② その他		2億円	・内部管理経費の縮減
<b>2 事務事業等の見直し</b>	<b>5億円程度</b>	<b>1億円</b>	
① 公債費の縮減		1億円	・新規発行の抑制、繰上償還等による負担抑制
<b>3 財源の確保</b>	<b>70億円程度</b>	<b>75億円</b>	
① 県有財産の売却		8億円	・未利用財産の売却 0.9
② 特定目的基金等の活用			・市町村振興資金特別会計からの繰入れ 7.2
③ 地方交付税等の確保		17億円	・地方交付税等の確保
④ 執行節減		50億円	・執行段階での節減
<b>収支改善額 [合計]</b>	<b>80億円程度</b>	<b>81億円</b> (注)	

(注) 実績(見込み)81億円は、H25年度当初予算ベース(ただし、執行節減見込50億円を含む)

### 3 今後の改革の進め方

経過監視期間と位置付けた平成24年度から平成25年度までの2年間の実績については、県民の皆様や県議会のご理解とご協力も頂き、職員定員の削減、歳出の見直し、歳入の確保などの取組みにより、概ね、財政健全化基本方針及び今後の財政健全化の取組み方針に沿って進んできました。

今後の取組みについては、財政健全化基本方針の目標年次である平成29年度に向けて、着実に財政収支の均衡を達成するために、これまでの取組みや実績を維持しつつ、職員定員の削減や更なる事務事業の見直しなどについて、社会経済情勢、国の予算の動向等を注視しつつ、県内各界各層のご意見もよく伺いながら、改革の進め方や具体的な取組みを検討していきます。

---

\* この資料中の表について

表中の数字については、項目ごとに端数調整や合計額の概数表記を行っているものがあるため、合計が一致しないものがあります。